

Chlamydophila pneumoniae が関与した 複数菌感染による市中肺炎の2例

ほう じょう のぶ まさ¹⁾ あ べ けん じ¹⁾ さい とう とし あき¹⁾
北 條 宣 政¹⁾ 阿 部 顕 治¹⁾ 齊 藤 稔 哲¹⁾
さか い りゅう じ¹⁾ やま した さと こ²⁾
酒 井 龍 司¹⁾ 山 下 智 子²⁾

キーワード：クラミジア肺炎，肺炎クラミジア，市中肺炎，
非定型肺炎，複数菌感染

要 旨

肺炎クラミジアが関与した複数菌感染による市中肺炎の2症例を経験した。

症例1は16歳，男性。主訴は発熱と咳嗽。胸部X線検査にて右上葉に肺炎像を認め，「成人市中肺炎ガイドライン」により非定型肺炎を疑い，血清学的診断により肺炎クラミジア及び肺炎マイコプラズマの複数菌感染による市中肺炎と診断した。

症例2は32歳，女性。主訴は発熱と咳嗽。胸部X線検査で左下葉に肺炎像を認め，血清学的診断及び喀痰培養検査で肺炎クラミジア及び肺炎球菌の複数菌感染による市中肺炎と診断した。

市中肺炎では，クラミジア・ニューモニエ肺炎を含めた複数菌感染を念頭に置く必要がある。

はじめに

クラミジア・ニューモニエ肺炎は非定型肺炎の一つであり，*Chlamydophila pneumoniae*（肺炎クラミジア）の感染により発症する。ヒトからヒトへ飛沫感染で伝搬し，市中肺炎の5-10%を占め，他の細菌やウイルスとの複数菌感染が多い¹⁾。

今回，我々は肺炎クラミジア感染に合併した複数菌感染による市中肺炎の2症例を経験したので報告する。

症 例

【症例1】16歳，男性。高校生。

【主訴】発熱，咳嗽。

【既往歴】11歳で急性虫垂炎にて手術。

【家族歴】特記事項なし。

【生活歴】鳥類との接触歴なし。温泉旅行及び循環式風呂の使用なし。

Nobumasa HOJO et al.

1) 浜田市国民健康保険診療所連合体

2) 島根大学医学部卒後臨床研修センター

連絡先：〒697-0211 浜田市金城町波佐イ441-1

浜田市国民健康保険波佐診療所